

在リオデジャネイロ日本国総領事館
路上生活者による犯罪の増加

フラメンゴ、ボタフォゴなどの邦人居住地区やオフィス街においてストリートチルドレンや浮浪者が増加しています。

スラム街対策が進んだ結果、麻薬による収入を失ってスラム街から街中に出てきた者が多いと言われており、隙を見せればひったくりや強盗などの犯罪行為に及ぶ可能性があります。

また、季節の変化に伴って、夏の間を涼しい内陸の高原地帯で過ごしていた路上生活者がリオ市内に移動してくる傾向があり、今後ますます路上生活者が増加しますので、近所

を出歩く際にも十分注意してください。